

実践記録

189

シリーズ

「彫刻界の名匠 石川雲蝶」ガイド活動

ボランティアグループ 三条雲蝶会

1 三条雲蝶会の発足と活動

三条雲蝶会は、平成21年度「団塊世代等社会参加促進モデル事業」(新潟県教育委員会主催)として三条市生涯学習課が開催した「石川雲蝶ガイド養成講座」の受講生35名のうち、雲蝶に魅了された15名が講座修了後にボランティア団体として結成しました。

以後4年間、雲蝶作品のすばらしさを県内外に広く知っていただくガイド活動をはじめとした様々な活動をおこなっています。

平成26年6月には「雲蝶生誕200周年祭」を当市で開催する予定です。



石動神社でガイド活動中。



三条市・井栗地区公民館
「実年教室」雲蝶会の会員
による講話

2 石川雲蝶

日本のミケランジェロといわれた雲蝶は、幕末の激動時代に江戸で生まれ、縁があって三条市に永住。

酒と人を愛し、神仏を敬い彫刻師「石川安兵衛雲蝶正照」として三条市を中心に県内各地に多くの名作を遺しました。

三条市以外には、魚沼市・西福寺開山堂、永林寺、旧栃尾市・秋葉神社、貴渡神社の作品が著名です。

三条市には法華宗総本山「本成寺」と吉野屋地区の石動神社に雲蝶の渾身の作品が遺されています。

(1)本成寺は明治26年の火災で本堂や納骨堂の雲蝶の作品を消失しました。

次の写真は後に寄進されたものと塔頭に遺された代表的な作品です。いずれも、木の性質を巧みに生かしたすばらしい作品です。



「牛の間の臥牛」
(本成寺本山)
*雲蝶の長男・儀平が
寄進した作品。



「柿の実を持つ猿」
(蓮如院)



「亀」
頭、手足、甲羅など
精緻極る傑作。(静明院)

(2)石動神社は明治元年に火災で焼失。同2年から同6年の再建時に雲蝶が渾身の作品を製作しました。雲蝶54歳から58歳までの遺作です。



「龍」(石動神社)
拝殿正面にあり、神社
の災難よけに製作した
雲蝶渾身の作品。



「神功皇后」(石動神社)
拝殿脇障子にあり、天皇の
后が子に授乳している図。

3 今後の課題

- (1)雲蝶会の活性化とガイド力の向上
- (2)雲蝶を切り口とした「まちおこし」の活動
- (3)平成26年6月「雲蝶生誕200周年祭」の開催準備
- (4)文化財保護活動の推進
(問い合わせ) 三条雲蝶会

0256 (33) 1754 角田 道雄